

宍道湖西岸の干潟に生息するゴミムシ類*

林 成 多

ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5

Ground Beetles of Tideland on Western Coast of Shinji Lake, Izumo, Shimane Prefecture, Japan

Masakazu HAYASHI

Hoshizaki Green Foundation, Okinoshima 1659-5, Sono,
Izumo, Shimane Pref., 691-0076 Japan

Key words : Carabidae, Shiji Lake, Shimane Prefecture, tideland

キーワード : オサムシ科, 宍道湖, 島根県, 干潟

島根県出雲市園町, 宍道湖グリーンパーク前の宍道湖西岸は, 国土交通省により「多自然型湖岸堤」として整備され, 野鳥をはじめとした野生生物の生息場所として, また, 自然観察のフィールドとして利用されている。宍道湖の水位が低下すると, この湖岸には砂泥質の干潟が出現する。この干潟には, ヤマトシジミをはじめとする汽水生物が生息している。昆虫では, 初夏にナゴヤサナエやウチワヤンマの羽化がみられるが, この干潟に生息する地表性甲虫類についてはほとんど記録がない。そこで, 2005年4月26-27日にゴミムシ類の採集を行ったので, その結果を報告する。採集方法は昼間に目視により行った。

確認されたゴミムシ類

オサムシ科 Carabidae

マルクビゴミムシ亜科 Nebriinae

キベリマルクビゴミムシ *Nebria livida angulata* 1ex.

ミズギワゴミムシ亜科 Bembidiinae

アトモンミズギワゴミムシ *Bembidion niloticum batesi* 3exs.

ヨツモンコムズギワゴミムシ *Tachyura laetifica* 1ex.

クイロコムズギワゴミムシ *Tachyura fumicata* 1ex.

ゴモクムシ亜科 Harpalinae

キベリゴモクムシ *Anoplogenus cyanescens* 1ex.

キイロチビゴモクムシ *Acupalpus inornatus* 1ex.

ミドリマメゴモクムシ *Stenolophus difficilis* 1ex.

ナガゴミムシ亜科 Pterostichinae

オオヒラタゴミムシ *Platynus magnus* 2exs.

得られたゴミムシ類はいずれも平地の湿地などでふつうにみられる種ばかりであった。オサムシ科以外では, ハネカクシ科の数種やハマベハサミムシが確認された。調査地点は汽水の干潟ではあるが, 塩分濃度が淡水にきわめて近いため, 塩水湿地性の種は生息していない可能性が高い。しかしながら, 調査期間や採集方法が限定されているため, 今後, さらに調査を行い, 貴重な宍道湖岸の干潟の昆虫相を解明したい。



図1 宍道湖西岸の干潟 2005.4.26



図2 キベリマルクビゴミムシ 2005.4.26

*ホシザキグリーン財団研究業績 第41号